

藤前干潟クリーン大作戦 第1回～第23回までの記録

		参加者	集約ゴミ袋	参加自治会	干潟観察会	水質調査	アンケート	特 徴
2004.10.24	第1回 04秋の大作戦	240	830	3				アテネ五輪メダリスト三名が参加・以降第5回まで参加。松原名古屋市長が参加。事後の実行委員会で春秋2回実施を確認
2005.05.08	第2回 05春の大作戦	430	1,400	7				多治見から市民団体が初参加
2005.11.13	第3回 05秋の大作戦	612	2,032	8				野井の大作戦メンバー、笠原中学生が参加 野井の作戦、笠中の里山整備に参加
2006.5.29 /28	第4回 06春の大作戦	—	—	—				予備日も含めて2日雨天のため中止
2006.11.05	第5回 06秋の大作戦	628	1,784	8				モリゾーキッコロが初参加
2007.05.19	第6回 07春の大作戦	748	1,314	8	△			春の大作戦に先立ち4.15ゴミシンポを開催。生物調査会を実施。中堤会場で防災鍋実施・以降毎回愛知防災リーダー会の協力を実施
2007.11.17	第7回 07秋の大作戦	614	1,284	8				
2008.05.17	第8回 08春の大作戦	750	800	8				
2008.11.16	第9回 08秋の大作戦	271	—	—				直前の雨で中止、支障ない一部学区で実施
2009.05.23	第10回 09春の大作戦	939	1,018	8				参加者が900人を超える。
2009.10.31	第11回 09秋の大作戦	1,190	1,791	8	37	○		初めて参加者が1,000人を超える。モリコロの外にうながせば、ヤマリン、ミーツ・ホーツも参加。流域5地点(4地点)の水質調査を開始、大作戦後干潟観察会を実施
2010.05.29	第12回 10春の大作戦	1,632	1,800	9	80	○	○	ペットボトルゴミを減らすためのアンケート実施(以降3回実施)
2010.10.23	第13回 10秋の大作戦	1,474	2,080	9	51	○	○	ペットボトルゴミを減らすためのアンケート実施
2011.05.14	第14回 11春の大作戦	1,483	1,879	9	44	○	○	マイクロバスで1.0kmまで参加者をピストン輸送。 ペットボトルゴミを減らすためのアンケート実施。デポジット制度導入が最大。
2011.11.12	第15回 11秋大作戦	1,589	2,293	9	40	○		マイクロバスで1.0kmまで参加者をピストン輸送。台風12号15号の影響で過去最大のゴミ集約。ペットボトルゴミのアンケート結果を報告。
2012.05.19	第16回 12春大作戦	1,821	2,034	9	57	○		過去最高の参加者。ゴミの集約数は過去3番目。しかし、春としては過去最高を集約。名古屋環境大学が講座を開設。
2012.10.27	第17回 12秋大作戦	1,876	1,802	9	45	○		過去最高の参加者数を更新。ゴミの集約数は過去5番目。
2013.05.25	第18回 13春大作戦	1,704	1,224	9	117	○		第3位の参加者数、ゴミ集約は少ない方から4番目。干潟観察会は初の100人超え。初の枇杷島の名城大学付属高校前会場に85人参加。
2013.11.16	第19回 13秋大作戦	1,737	1,573	9	45	○		第3位の参加者数、ゴミ集約は秋の取組としては過去10回中3番目に少ない集約数。春の状況も含めて希望的観測として、漂着ゴミが減っているのか？
2014.05.17	第20回 14春大作戦	1,755	1,523	9	100	○		10周年記念第20回春の藤前干潟クリーン大作戦として開催。 20回で延べ参加者が2万人を超える！
2014.10.25	第21回 14秋大作戦	1,928	1,681	9	103	○		過去最高の参加者 ごみの集約数が、第1回以降の合計で3万袋を越えた。
2015.5.16	第22回 15春大作戦	30	—	—	—	○		雨にため7年ぶりに中止。スタッフが片付けと水質調査、交流会を行った。
2015.10.24	第23回 15秋大作戦	2,424	2,154	9	120	○		2,324人と過去最高の参加者となり通算参加者数は2万5千人を超えました。収集したゴミ袋は第15回(11秋の2293袋)に次いで2番目の収集となり、通算収集数が30,142袋となり3万を超えました。干潟観察会の参加者は、120人ほどとなり過去最高レベルの参加者となった。
	合 計	25,875	30,142		719			